

# 求められているのは、「やりがい」

## ～ 提供型の支援ではなく自律型の支援 ～

○発表者名 社会福祉法人鳥取福祉会 養護老人ホーム鳥取市なごみ苑 介護福祉士 比護 麻由美

### 1. 問題提起

養護老人ホームは社会復帰を目指す施設だが、利用者の重度化やニーズの多様化が顕著であり、宅生活を取り戻すのは難しい現状にある。社会復帰支援と現実支援に大きな乖離がある中で、退所を目指すだけでなく、施設入所であっても、やりがいを持って地域で暮らすことができれば、社会復帰ではないかとの仮説を立て、R2年度に『自律して地域とともに暮らせる支援！』を施設ビジョンとして策定した。利用者一人一人により沿った支援を、養護施設として当苑がどのように取り組んで行くべきなのかが課題と考え、ビジョンに基づき、自律を促す「やりがい活動」として取り組みを始めた。

自律して、地域と共に暮らせる支援！

なごみ苑 Vision

1. 職員の意識・行動改革  
「日本一の養護老人ホームの職員」なら、こう考える

2. ご利用者の意欲の醸成  
提供型の支援から、自律型の支援

3. 地域社会への参加  
地域との関係人口の醸成

### 2. 目的

- ・「ご利用者自身が自発的に地域社会に参加する意欲の醸成を図る」ことを目的とした。
- ・「提供型では無く、自律型の支援」を念頭に、地域社会への参加を目指すための『ご利用者の意欲を活かせる仕組み作り』を活動目標とし、以下の3点を目指した。
  - ①生きがいへ繋ぐ「QOLの維持向上」
  - ②地域社会への参加を促し社会的役割を担う「自律を高めた生活」
  - ③比較評価のため「自律度を数値化」

### 3. 方法

※自律活動を促す支援とするために、行政と地域を加えた、「やりがい活動」チームで活動。

(1) 職員の意識、行動改革： ⇒ チーム内での勉強会

- ・養護施設の目的と施設ビジョンの再認識
- ・やりがい、生きがいについて（4要素：好き/得意/必要とされる/稼げる）等

(2) ご利用者の意欲の醸成： ⇒ 役割マッチングと生きがい

- ・『興味関心チェックシート』、『生きがい4つの構成要素』、『精神的自律性尺度』、『モニタリングシート』の活用で、利用者個々にマッチングした役割の発掘とモニタリング

(3) 地域社会への参加： ⇒ 行政や地域団体との連携

- ・介護支援ボランティア登録を行政と協議し実現
- ・『稼げる』要素で意欲向上
- ・法人内デイサービス施設でのボランティア活動と利用者間交流
- ・他法人の施設利用者／職員／民間企業で、公園の美化活動による地域団体と交流
- ・苑周辺の清掃活動で地域貢献を周知

#### 4. 成果・課題

##### (1) 職員の意識、行動改革：

- ・勉強会で目的・方向性・知識などを共有理解できたことで、「やりがい活動」への職員の意識や行動に前向きな変化がでてきた。
- ・利用者とのコミュニケーション量が増えた。

##### (2) ご利用者の意欲の醸成：

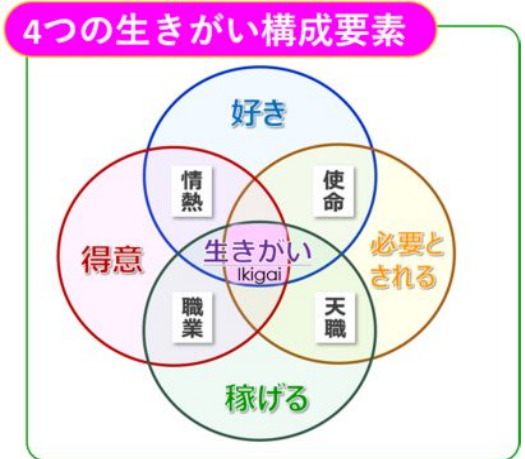
- ・『精神性自律性尺度』『モニタリングシート』、『生きがい4つの構成要素』など、新たなツールを活用し、やりがい活動をマッチングするプロセスが構築できた。
- ・事例) A様：清掃の役割に他施設での将棋・麻雀ボランティアの役割を組み合わせると、『必要とされる、稼げる』要素に『好き、得意』が加わり、【自律度が53%⇒65%にアップ】
- ・事例) B様：植物育成で苗植えや水やりに積極的だったが、本人の負担になっていたことが分かり中止。精神障がいの方に対しては小さなサインへの気づきが必要。『好き、得意』に配慮した活動プログラム立案が課題となる。

##### (3) 地域社会への参加：

- ・行政と連携：介護支援ボランティア11名登録。
- ・他施設や民間企業と一緒に地域社会への参加活動が実現した。苑周辺、公園での清掃活動により、地域住民へ活動周知ができた。

#### 評価：精神的 自立性尺度 A様

項目 (目的志向性/自己責任性)	7月 10月 1月			
	そう思わない	どちらかというくらい思わない	どちらかというくらい思う	そう思う
1. 趣味や楽しみ、好きでやることを持っている	1	2	3	4
2. これからの人生に目的を持っている	1	2	3	4
3. 何か夢中になれることがある	1	2	3	4
4. 何か人のためになることをしたい	1	2	3	4
5. 人の指図より自分の判断で行動する方だ	1	2	3	4
6. 状況や他人の意見に流されない方だ	1	2	3	4
7. 自分の意見や行動には責任を持っている	1	2	3	4
8. 自分の考えに自信を持っている	1	2	3	4



<結果> 活動目標を達成することができた。

- ①QOLの維持向上：役割のマッチングプロセスで「生きがいへの仕組み作り」ができた。
- ②自律を高めた生活：「稼げる」という仕組み作りを実現した。
- ③自律度を数値化：「自立性尺度」で比較分析、生きがい要素の不足把握が可能になった。

<課題>

- ①持続可能とするために役割マッチングプロセスのマニュアル化とケアプランへの反映。
- ②精神疾患/要介護者への「役割」、専門医の協力。
- ③地域との接点作りの役割の一助を担う『Ikigai活動』として展開、『関係人口』を拡大。

これらの課題に取り組む上で、なごみ苑ビジョンの中期戦略に基づき活動を継続して行く。

